

タンニングマシン・ご利用上の安全基準 ①

1. ご利用できない人

- 紫外線、及び日光過敏症の人
- 日焼けができない肌タイプの人
(日光を浴びると、いつも肌が赤くなり、ヤケド日焼けをしてしまう人)
- 16歳未満の人 (18歳未満の人がご利用する場合は、保護者の同意が必要です)
- 医師にタンニングを禁止されている人
- 現在、肌がヤケド日焼けで炎症を起こしている人
- 病気、ケガで治療中の人
- 皮膚や目に障害のある人
- 同じ日に、前もって日光浴をした人
- てんかんの病歴、閉所恐怖症の人
- 紫外線の感受性を高める医薬品を使用中の人
(抗生物質、睡眠薬、抗うつ剤、ピル、水虫薬、湿布薬を使用中、及び使用直後の人)
- 妊娠中や、妊娠の可能性のある人
(妊娠中は紫外線の感受性が高まるので、炎症を起こしたりシミができてたりしがちです)
- 飲酒後、体調不良、睡眠不足の人
(タンニングによって体の疲労度が高くなります)

2. タンニングの注意事項

- 紫外線、及び赤外線は、目や皮膚に障害を与えることがあります。
- ご自分の肌質をご確認いただき、肌質に合ったタンニングマシンと、ご利用時間をお選びください。
(“肌質とマシンの強度、ご利用時間の目安”の表をご覧ください。ご不明の点はスタッフにおたずねください)
- タンニングの際は、必ず目を閉じ、UV保護ゴーグルをご利用ください。ゴーグルについては受付におたずねください。
- タンニングマシンのランプや光源を直視しないでください。
(光線を直視すると、角膜や網膜が傷つき、視力が低下する場合があります)
- 炎症を起こすような長時間のご利用はできません。
(“肌質とマシンの強度、ご利用時間の目安”の表をご覧ください)
- タンニングマシンは同じ日に2回のご利用はできません。
(“セーフティ タンニング 1Weekプログラム”をご覧ください)
- 化粧品、香水はタンニングの前に必ず落としてください。
(化粧品や香水には、紫外線の感受性を高める成分が含まれています。そのため、炎症を起こしたり、シミができる場合があります)
- タンニングの前にミカン、オレンジ等、柑橘類の果汁を肌に塗らないでください。
(柑橘類に含まれるソラレンは、紫外線の感受性を高めます)
- 時計、ネックレス、ブレスレット等のアクセサリーは、タンニングの前に必ずはずしてください。
(タンニング光線によって金属が加熱し、ヤケドする場合があります)
- コンタクトレンズは、タンニングの前に必ずはずしてください。
(マシンの中は乾燥しているため、ドライアイになる場合があります)
- 刺青(Tattoo)、アートメイクのある人は、タオル等でその部分をカバーしてください。
(光線によって色素が変色したり、色素が化学反応して皮膚に障害を与える場合があります)
- タンニングの前と後に十分に水分を補給して、脱水症状にならないようご注意ください。
- ご利用中に気分が悪くなったり、マシンに異常を感じた場合は、ただちにご利用を中止し、スタッフにお申し出ください。